

## 平成27年度決算における健全化判断比率・資金不足比率の公表

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率を算定し、監査委員の審査を受け、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民のみなさまに公表することとなっています。

健全化判断比率は、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの指標で、それぞれの比率に応じて「健全」「早期健全化」「財政再生」の3段階（④将来負担比率に財政再生段階はありません）に区分されます。また資金不足比率は、公営企業ごとに算定するもので「健全」「経営健全化」の2段階に区分されます。健全化判断比率のうち1つでも早期健全化基準以上となった場合は財政健全化計画を、また、資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合は経営健全化計画をいずれも議会の議決を経て定める必要があります。

平成27年度決算に基づき算定した亀山市の健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも国が定める基準を下回りました。今後も健全な財政運営に努めます。

### 健全化判断比率

指標の名称	概要	国が定める基準		本市の状況	
実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	早期健全化基準	12.97 %	-	赤字額がないため「-」
		財政再生基準	20.00 %		
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	早期健全化基準	17.97 %	-	
		財政再生基準	30.00 %		
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する比率	早期健全化基準	25.0 %	2.4 %	
		財政再生基準	35.0 %		
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	早期健全化基準	350.0 %	-	
		財政再生基準			

### 資金不足比率

会計名称	概要	国が定める基準		本市の状況	
水道事業会計	各公営企業の資金不足額が事業規模に占める比率	経営健全化基準	20.0 %	-	資金不足額がないため「-」
工業用水道事業会計				-	
病院事業会計				-	
公共下水道事業会計				-	
農業集落排水事業特別会計				-	

亀山市		実質赤字比率 (%)	人口	H27国調	50,265	住民基本台帳人口	28.331	49,584	面積 (km <sup>2</sup> )	191.04	財政力指数	0.964	市町村類型	II-O
平成27年度決算に基づく健全化判断比率の状況(速報値)		連結実質赤字比率 (%)	実質公債費比率											
実質赤字比率		実質公債費比率 (%)	区分			決算額(単位:千円, %)			左の内訳(平成27年度)					
区分		決算額(単位:千円)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
A 繰上充用額		0	公債費充当一般財源額等(繰上償還及び満期一括地方債の元金に係るものを除く)	0	積立不足額を考慮して算定した額	0	満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金相当分	0	0	0	0	0	0	0
B 支払繰延額		0	②	0	③	0	④	0	0	0	0	0	0	0
C 事業繰越額		0	⑤	0	⑥	0	⑦	0	0	0	0	0	0	0
D 標準財政規模		12,835,300	⑧	969	⑨	589,862	⑩	610,430	⑪	714,630	⑫	714,630	⑬	714,630
実質赤字比率 [(A+B+C)/D×100]		—	⑬	969	⑭	589,862	⑮	610,430	⑯	714,630	⑰	714,630	⑱	714,630
連結実質赤字比率		資金不足比率(単位:%)	⑲	969	⑳	589,862	㉑	610,430	㉒	714,630	㉓	714,630	㉔	714,630
区分		決算額(単位:千円)	㉕	969	㉖	589,862	㉗	610,430	㉘	714,630	㉙	714,630	㉚	714,630
実質収支額	[1] 一般会計	968,363	㉛	969	㉜	589,862	㉝	610,430	㉞	714,630	㉟	714,630	㊱	714,630
	[2]		㊲	969	㊳	589,862	㊴	610,430	㊵	714,630	㊶	714,630	㊷	714,630
	[3]		㊸	969	㊹	589,862	㊺	610,430	㊻	714,630	㊼	714,630	㊽	714,630
	[4]		㊾	969	㊿	589,862	㋀	610,430	㋁	714,630	㋂	714,630	㋃	714,630
	[5]		㋄	969	㋅	589,862	㋆	610,430	㋇	714,630	㋈	714,630	㋉	714,630
	[6]		㋊	969	㋋	589,862	㋌	610,430	㋍	714,630	㋎	714,630	㋏	714,630
	[7]		㋐	969	㋑	589,862	㋒	610,430	㋓	714,630	㋔	714,630	㋕	714,630
	[8] 国民健康保険事業特別会計	25,968	㋖	969	㋗	589,862	㋘	610,430	㋙	714,630	㋚	714,630	㋛	714,630
	[9] 後期高齢者医療事業特別会計	2,663	㋜	969	㋝	589,862	㋞	610,430	㋟	714,630	㋠	714,630	㋡	714,630
	[10]		㋢	969	㋣	589,862	㋤	610,430	㋥	714,630	㋦	714,630	㋧	714,630
	[11]		㋨	969	㋩	589,862	㋪	610,430	㋫	714,630	㋬	714,630	㋭	714,630
	[12]		㋮	969	㋯	589,862	㋰	610,430	㋱	714,630	㋲	714,630	㋳	714,630
	[13]		㋴	969	㋵	589,862	㋶	610,430	㋷	714,630	㋸	714,630	㋹	714,630
	[14]		㋺	969	㋻	589,862	㋼	610,430	㋽	714,630	㋾	714,630	㋿	714,630
資金不足額又は資金剰余額	[15] 水道事業会計	802,732	㊰	969	㊱	589,862	㊲	610,430	㊳	714,630	㊴	714,630	㊵	714,630
	[16] 工業用水道事業会計	173,263	㊶	969	㊷	589,862	㊸	610,430	㊹	714,630	㊺	714,630	㊻	714,630
	[17] 病院事業会計	341,783	㊼	969	㊽	589,862	㊾	610,430	㊿	714,630	㋀	714,630	㋁	714,630
	[18] 公共下水道事業会計	450,299	㋂	969	㋃	589,862	㋄	610,430	㋅	714,630	㋆	714,630	㋇	714,630
	[19]		㋈	969	㋉	589,862	㋊	610,430	㋋	714,630	㋌	714,630	㋍	714,630
	[20]		㋎	969	㋏	589,862	㋐	610,430	㋑	714,630	㋒	714,630	㋓	714,630
	[21]		㋔	969	㋕	589,862	㋖	610,430	㋗	714,630	㋘	714,630	㋙	714,630
	[22] 農業集落排水事業特別会計	22,444	㋚	969	㋛	589,862	㋜	610,430	㋝	714,630	㋞	714,630	㋟	714,630
	[23]		㋠	969	㋡	589,862	㋢	610,430	㋣	714,630	㋤	714,630	㋥	714,630
	[24]		㋦	969	㋧	589,862	㋨	610,430	㋩	714,630	㋪	714,630	㋫	714,630
	[25]		㋬	969	㋭	589,862	㋮	610,430	㋯	714,630	㋰	714,630	㋱	714,630
	[26]		㋲	969	㋳	589,862	㋴	610,430	㋵	714,630	㋶	714,630	㋷	714,630
	[27]		㋸	969	㋹	589,862	㋺	610,430	㋻	714,630	㋼	714,630	㋽	714,630
	[28]		㋾	969	㋿	589,862	㊰	610,430	㊱	714,630	㊲	714,630	㊳	714,630
A 連結実質赤字額([1]~[28])	0	㊴	969	㊵	589,862	㊶	610,430	㊷	714,630	㊸	714,630	㊹	714,630	
B 標準財政規模	12,835,300	㊺	969	㊻	589,862	㊼	610,430	㊽	714,630	㊾	714,630	㊿	714,630	
連結実質赤字比率【A/B×100】	—	㋀	969	㋁	589,862	㋂	610,430	㋃	714,630	㋄	714,630	㋅	714,630	
将来負担比率		将来負担比率【A/B×100】	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
実質公債費比率(3カ年平均)【C/3】		2.4	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳
D 標準財政規模		12,835,300	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
将来負担比率		—	将来負担比率											
区分		決算額(単位:千円, %)	区分			左の内訳								
A 繰上充用額		0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
B 支払繰延額		0	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
C 事業繰越額		0	㉗	㉘	㉙									